

沖縄総合事務局 開発建設部 総合評価審査委員会(営繕系)

議事概要

開催日及び場所	平成23年10月5日(水) 沖縄総合事務局 4階 事業審査室	
委 員	委員長 中野 則夫 (開発建設部長) 副委員長 板橋 薫 (営繕調査官) 委 員 堤 純一郎 (琉球大学教授) 委 員 森下 陽一 (琉球大学教授) 委 員 野島 孝一郎 (管理課長) (欠席) 委 員 与那霸 忍 (技術管理課長) 委 員 田阪 昭彦 (営繕課長) 委 員 清水 修 (営繕監督保全室長)	
対象案件	総件数 7 件	(備考)
高度技術提案型	0 件	
WTO標準型	1 件	
標準型	0 件	
標準型	2 件	
簡易型	4 件	
	意 見 ・ 質 問	回 答
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり。	別紙のとおり。
委員による審査結果の内容	別紙のとおり。 委員から意見があったものについて、事務局で検討し原案を修正した。	

(別 紙)

意見・質問	回答
<p>審査対象案件</p> <p>1. (WTO標準型)総合評価方式 1 新石垣航空基地建築工事(第2回)</p> <p>2. (簡易型)総合評価方式 1 宮古島気象台(23)建築その他改修工事 2 那覇第1合同(23)建築改修工事 3 警察学校(23)建築その他改修外1件工事</p> <p>3. (標準型)総合評価方式 1 那覇第1合同(23)建築改修工事 2 新石垣航空基地電気設備工事 3 新石垣航空基地機械設備工事</p> <p>個別審議</p> <p>新石垣航空基地建築工事</p> <p>CON製スペーサーを点数として評価せず、0点(協議のうえ実施)とした理由はなにか。</p> <p>塩害対策として資材、鉄筋材を保護するため、屋根を設置することとしているが、コンクリート工事の品質向上として評価できるのか。</p> <p>コンクリート膨張材はそのコントロールが難しいと考える。周囲が囲まれた場合であれば効果は期待できるが、本提案では地上部躯体と表記している。</p> <p>具体的提案事項(案)の「鋼製型枠(埋め込み型)の使用」は評価基準の環境負荷抑制対策となるのか。再利用したほうが負荷が減るのではないか。</p> <p>施工計画2案の要求に対し、1案しか提出していない者を欠格としているが、根拠はあるのか。</p> <p>抽出審議</p> <p>宮古島気象台(23)建築その他改修工事</p> <p>配置予定技術者の同種工事の施工経験の配点はどのように採点しているのか。</p> <p>すべての業者に工事公告をするのか。</p> <p>複数者ダウンロードしているのか。</p> <p>警察学校(23)建築その他改修外1件工事</p> <p>審査内容にかかる質疑は特になし。</p>	<ul style="list-style-type: none">打設時に横向きに回転する可能性が否めないため、協議して問題がない場合、実施すると判断した。間接的であるが、コンクリート工事の品質向上として評価した。 再度事務局で検討した結果、評価を取り下げ0点(協議のうえ実施)とする。委員からのご意見をふまえ、効果に対する疑義がある内容については、評価を0点(協議のうえ実施)とする。建設副産物の発生抑制や、CO2排出抑制等、各者の提案の視点が異なるため、再度事務局にて整理の上、環境負荷抑制に資するものとして明確に説明できるもののみを評価対象とする。入札説明書に記載あり。提案の中身がないという理由で欠格としているのではなく、書類の不備として欠格としている。 <ul style="list-style-type: none">「総合評価について(案)2.評価方法 配置予定技術者の技術力について」による。当局から情報発信はない。PPIや業界紙から情報を入手することになる。複数者がダウンロードしている。 (確認したところ4者)